

地域支援だより

平成27年7月10日

第54号

秋田県立秋田きらり支援学校  
地域支援部

# きらりNet

## 教材・教具特集～小学部の集会、運動会より

小学部の集会や運動会趣向走で使用した教材・教具、補助具を集めてみました。

### ドラムロール

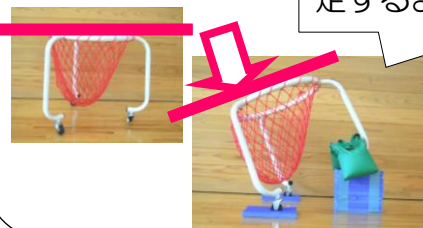


棒スイッチ(通称：きりたんぼスイッチ)とマッサージ器をBDアダプターで接続します。ドラムの上にマッサージ器を乗せて、スイッチを入れます。



学部集会の表彰場面では、児童がスイッチを入れてドラムロールを鳴らしました。シンバルの音も加わり、かっこよく決めて会場を盛りあげました。

### カゴの足台



平らなカゴはボールが外れやすいため、足台で角度を付け安定するよう砂袋を設置します。

運動会の趣向走では、角度が付いて見やすくなり、シュートがねらいやすくなりました。



## 《自立活動研修会のお知らせ》

日時 平成27年7月27日(月) 9:00~11:00  
場所 あきた総合支援エリア 大会議室 (秋田きらり支援学校)  
内容 「移乗、ポジショニング」 ※講話と実技  
講師 秋田県立医療療育センター 理学療法士 近藤 堅仁 氏  
佐藤理枝子 氏  
鈴木 麻美 氏

対象 県内特別支援学級・特別支援学校職員  
※ホームページ上の研修会の詳細をご確認の上、申込用紙をダウンロードしFAXにてお申し込みください。申込締切は、7月13日(月)です。  
みなさまのご参加をお待ちしております。



## 小学部 1・2年遊びの指導から 「こなであそぼう」



座位保持椅子（らくちゃん）を使うと、座って両手を使って粉の感触を感じることができます。



音や急な動きにびっくりした時等、身体がつっぱり後ろに倒れる子もいます。そのような場合には、らくちゃんの他、後ろにキューボモビリア（クッション）を置くと安心して活動できます。

遊びの学習では自分で黙々と遊ぶ他に、友達と関わりながら遊ぶこともねらいとしています。このような保持機器を使うことで、車椅子から降りた場所でも友達と同じ場を共有して遊ぶことができ、「私もこうやりたい、こっちにもちょうだい」というやりとりができていました。

## 教育専門監のコーナー 「表現力を高める、言語活動～言語意識の育成」

### 言語活動の充実を図るポイント

#### ポイント①

〔言語活動を、単元を貫くものとして位置付ける〕  
児童生徒が自ら学び、課題解決できる学習過程を

#### ポイント②

〔指導内容にふさわしい言語活動を選定する〕  
単元の指導内容を明確にした年間指導計画を

#### ポイント③

〔目的や相手、状況を明確にした活動にする〕  
「何のために」「どんな人に」「どのような状況で」等、  
一人一人の言語意識に働きかける指導支援を

### 全ての学習に通じる言語活動の視点

【第1次】 目標や課題の設定

【第2次】 目標達成や課題解決のための活動

【第3次】 目標や課題に応じた交流・表現活動

子どもと教師との相互交渉（＝関わり）という日々の教育活動で、豊かな言語活動が展開されることで「思考力・判断力・表現力」が育まれます。子どもが自分の知識や技能を駆使して課題と向き合う活動で、自分の「思考・判断・表現」という心の動きに働きかける教育活動を貫く視点といえます。

子どもが実際に言語活動を行い学習を進めていく際には、以下に示す5つの言語意識を子どもが認識できる学習の展開が大切です。

「目的意識」…何のためにその言語活動を行うのか。

「相手意識」…伝える対象がいる場合、誰に対して伝えるのか。

「場面・状況・条件意識」…どのような場面、状況、条件の下で行うのか。

「方法意識」…どのような方法様式で行う活動なのか。

「評価意識」…上記の意識を大切に活動を行っているか。

（小森茂氏による）

上記のような“意識”を教師も子どもも、常に自覚しながら活動を進めることで、生き生きとした表現活動が育まれます。子どもたちが、5つの言語意識を大切にして活動を展開できるよう、指導計画の作成、授業の展開、活動と支援の工夫を行うことが大切です。

大切なのは、（子どもも教師も共に）

・語彙を豊かにすること

・読書活動（読み聞かせ）を推進すること

・学校図書館の活用や教室掲示など、学校教育活動全ての言語環境を整備すること 等

教師が「豊かな言語活動」を支える視点にたち、日々の子どもの関わりのなかで、言葉を大切に豊かなコミュニケーションを心掛けていくことではないでしょうか。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

